

日ラグ協発第 18-229 号
平成 30 年 6 月 29 日

関東ラグビーフットボール協会
会長 水谷 眞 様
関西ラグビーフットボール協会
会長 坂田 好弘 様
九州ラグビーフットボール協会
会長 森 重隆 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会
会長 岡村



インテグリティ追求のお願い（通達）

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、日本ラグビーフットボール協会は、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会、2020 年東京オリンピックに向けて策定した戦略計画の重要な柱として「Keep Integrity」を加えています。

JRFU 戦略計画 2016-2020 行動指針

Be Open・・・人々とつながり、社会に役立とう。
Play Globally・・・世界視点で考え、実行しよう。
Keep Integrity・・・常に真摯であり、誠実でいよう。

このたび、インテグリティの追求に向けて、日本ラグビーフットボール協会の方針等をホームページにてお伝えすることとしました。ここに記載していることはインテグリティについての基本的な考え方と、参考となる情報ですので、ぜひともご活用ください。

<https://www.rugby-japan.jp/news/2018/06/29/49299>

貴協会におかれましても上記主旨ご理解の上、加盟都道府県協会に周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

敬具